

## —平成27年度「校長経営戦略予算 加算」による取組み—

### ドメスティック化とグローバル化の平行教育の取組みについて

大阪市立東三国中学校 名田正廣

「あの子誰の子 地域の子」の標語が示すように、本校では登録数約550名の学校元気アップボランティア（学校元気アップ事業）、がほぼ毎日学校に多数お越しになり、朗らかな育みの場に協力してくださっています。また、呼応するように生徒の自主参加による地域清掃活動も月1回日曜日の朝に実施し「情働の環流」（ボランティア活動など「情のある働き」を「循環させる」取組みの日常化）を本校教育の1つ目の柱としています。（ドメスティック化）

また、2つ目の柱として「実践的な英語能力の習得」を目指します。平成25年度より27年度まで英語教育重点校として校区小学校（東三国・新東三国小）と連携し9カ年の英語音声指導（フォニックス）を実施しており、また、さまざまな英語を接する機会を通じて、英語を skill としてとらえ生徒の英語力の向上をめざします。（グローバル化）

本校ではこのように「ドメスティック化（地元で頑張れる人材）とグローバル化（世界で頑張れる人材）の平行教育」を「あたりまえのことをあたりまえにできる」学校で目指します。生徒のもつ可能性を最大限引き出す教育を推進するためのエンジン「規範意識の醸成」の取組みが3本目の柱です。学校が安定したら生徒は反復的な学習・練習が可能になり基礎学力・体力は未然に向上します。また、教師と生徒の関係も安定し信頼関係の下で中学校生活を送ることができます。このことは教育活動全般に最も大切な要素であり、公教育としてあるべき姿であると信じ、「情働の環流」「実践的な英語能力の取得」「規範意識の醸成」が本校における意識すべき「公教育の使命と教育改革」です。

また、地域と校区3校を中心とした「品格教育」については「誰もが目標とする良い行動・習慣をあらわした言葉」をポスターに表出し、ともに子供を育む習慣を作っていく土壌を作るために、平成27年度校長経営戦略予算（加算）で購入した「大型ポスター印刷機」によって高品質の大型ポスター作製が可能になり、小学校や地域の掲示板に共通の「品格教育ポスター」が掲示されています。

#### ◎「情働の環流」を目指す学校元気アップを中心とした取組み

本校では平成26年度より学校元気アップ事業を導入し、現在2年が経過し、導入当初より学校の情報公開を念頭に置いた地域との絆の強化のために、学校元気アップボランティア総数1500名目標を掲げ、現在550名余りのボランティアが登録し、様々な教育活動にお手伝いいただいています。

##### (1) お昼休みボランティア（毎日・13:00～13:30）

淀川区では平成26年度より学校給食を全校実施していますが（1校除く）、本校では以下の通りの時程で実施しています。

- ① 4時限目終了・給食配膳開始（当番各学年の集積場・3か所へ） 12:40
- ② 13:05中間ベル・給食回収開始（各自集積場へ）

③ 13:25予鈴・13:30 5時間目開始

[活動] 13:00に集合し、中間ベル以降に食べ終わった生徒が各自集積場に持ってきた給食の食器を元気アップボランティアがワゴンに積んで配膳室にもって行きます。生徒は各自で集積場に持ってくるため、13:05以後は全員休憩にとることができます。(食べるのが遅い生徒もそのまま食べることができます。)

またボランティアは集積場にいと、学年全員の生徒に会えるので声掛けが円滑にできます。

13:15頃、回収作業が終わるので、13:30までの間、校内を巡視・生徒の見守り活動を行います。

1日の参加者平均は約10名。場合により5時間目の授業参観も実施し、生徒たちは全く、外部からくる大人に対してごく普通のおだやかな対応で安心して生活を送っています。

なお、平成28年2学期より校区小学校で調理された温かい親子方式の給食が始まります。

(2) 図書館支援ボランティア 週2回程度(10:30~11:30)(15:30~16:30)

本校では約冊の蔵書があるが、図書館支援ボランティアによりその蔵書をすべてバーコード管理できました。作業はすべて図書担当教員のゆるやかな指示によりほとんどコーディネーターが中心になってバーコード化がなされ、現在では職員・図書係不在でもボランティアのみで開館業務も可能です。

学習支援ボランティアともリンクし、図書館を学びの場、地域の人との交流の場にするために平成26年度校長経営戦略予算加算を図書館改修で計上し、約500万円かけ図書館の書架・机などを入れ替え人の集まる場としての温かな雰囲気 of 図書館環境を整備しました。

バーコード貼り付け作業は1日5名~10名のボランティアが参加され、また放課後は地域のボランティアと生徒が混在しながら図書館で読書を行い、和やかな雰囲気を醸し出しています。

また、図書館を活用した「校長トーク」(講演者・校長)を学期に1回開催し「生活指導」「生徒の心理」「進路に関わる話」などをトピックとして、保護者・地域の方向けの講演会を実施し、また、学校協議会なども図書館で開催し、平成27年度校長経営戦略予算で購入した「70インチ大型電子」を活用したプレゼンテーションを行い、平成28年度も「開かれた学校づくり」のための講演活動などを実施する。また研修資料の動画資料などの配布を目的とした「DVDデュプリケーター(コピー機)」を同予算で購入し、情報の公開に努めています。

(3) ジュニアリーダーボランティア活動(2月に1回・日曜日朝、年1回全校清掃)

「情働の環流」として、毎日多くの元気アップボランティアが学校に協力してくださるお返しとして、任意参加の公園清掃を地域女性会とともに実施しています。

中学校内に地域人材を導入することは、小学校時代までの受けた子ども会活動などの温かさを風化させず、成人までの空白の期間を短縮し、地域活動を円滑にさせます。そのためにも現在、中学校からも「地域活動協議会」に13~25才の幅の若者に青年部など活動を復活させ、地域に根差した人材の活性化に取り組んでいくよう働きかけを行っています。

その結果、9月の土曜日には校区小学校の子供キャンプに中学生をリーダーとして募り、キャンプ

## 資料①「校長経営戦略予算 加算」

### 「品格教育」の取組について ―不易の言葉を表出し、意識・目標とする指導―

大阪市立東三国中学校 名田正廣

東三国中学校では平成25年度より「マルチレベルアプローチ指導」の一環として「品格教育」を地域3校（東三国中・東三国小・新東三国小）を軸に、地域全体で取り組んでいる。

東三国中学校は「学校が地域の中心」といった考え方が根付いている地域にあり、元気アップボランティアの登録数も生徒数をはるかに上回る550名の登録がある。児童・生徒には多くの温かい目が注がれる環境にあり、学校発信の事業を考えた時に「地域への帰属心」や「老若男女に共通した目標」「あたりまえのことをあたりまえにする」ことを「目に見えた形」にすることが必要と考え、広島大学大学院の指導を通じて「品格教育」を実施している。

昨今の情報化時代ではネット上で「まじめな言葉」や「誰もが目標とする言葉」は拡散せず、その反面、人目を引くような「ショッキングな事件やインパクトの強い言葉」はすぐに拡散する。

そんな時代だからこそ、東三国中学校は校区の東三国小学校・新東三国小学校と協働し、小中9カ年を「品格教育」で連携し、子どもたちを取り巻く地域社会の協力を経て、大人も子供も一緒に社会性や道徳性を育む指導に取り組んでいる。なお、大型ポスター印刷機を校長経営戦略予算（加算）で購入し、毎月ポスター印刷（A1～A3印刷）を実施し、学校や地域に配布し掲示している。

### 「品格教育」(Character Education)とは

子ども達が良い行動とはどのようなものかを知り、  
良い行動をとれるようになることを望み  
良い行為を実際の行うことで、  
子どもたちが自分自身の生活を良い方向に導くよう援助していく教育

☆「親しみやすいキャラクター付き、月間目標ポスター」を掲示。

岡山県総社市が推進（H26総社市研修会に本校職員が参加しコンセプト導入）

（アメリカ発祥の教育方法）

#### 「品格教育のキーワード」

「根気・忍耐・公正・正義・勤勉・礼節・寛容・思いやり・協力」など、

わかりやすい目標になる言葉を月間目標 に設定

5月思いやり 6月忍耐 7・8月 協力 9月感謝 10月親切

11月 寛容 12月・1月 礼節 2月（※） 3・4月（※）

・・・5月より施行実施 10月より本格実施 ※の目標は準備中

### 「指導方法について」

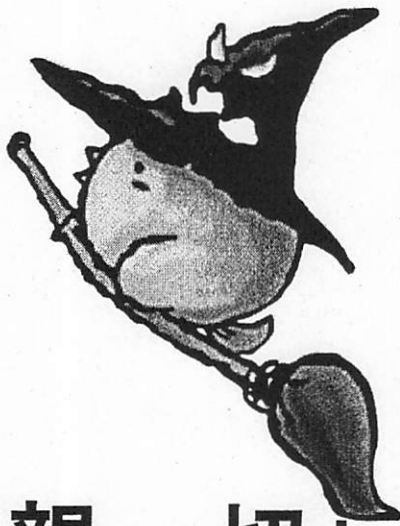
- ① 学校園では月初めの全校朝礼の講話には必ずキーワードをいれた講話学習を行い、子供たちにていねいにその必要性・奨める行動例などの話をする。ポスター掲示場所の担当者にもできるだけ機会を見て触れていただく。
- ② 学校園では学級活動・道徳の授業などに活用し。また、保護者にも周知している。

### 「拡散の範囲」

- 社協（東三国・新東三国地域）・専門学校（新大阪歯科技工士専門学校）、  
保育所（新東三国保育園・つくしんぼ保育園）・公的施設・個人商店などでもポスター掲示  
をお願いする。（月替わり）
  - ・両小学校と実施検討⇒ 1学期中に指導ベースの確定・ポスター作製  
⇒9月より学校ベースでの指導開始⇒拡散（東三国中期以内）
- 「東三国品格教育連絡協議会」により予算面などの課題を共有する。

### ☆ 品格教育ポスター（キャラクター「ひがっぴー」 山根幸代作）☆

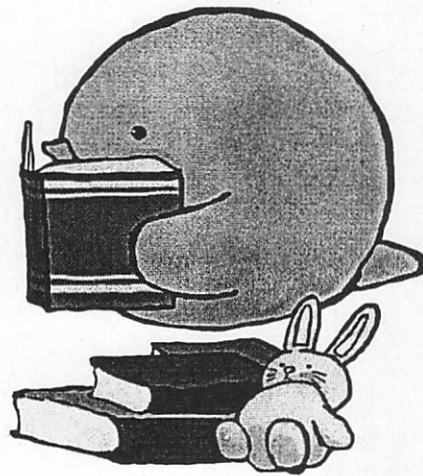
#### 10月テーマ



## 「親切」

—東三国品格教育連絡協議会—

#### 11月テーマ



## 「寛容」

—東三国品格教育連絡協議会—

## 【 目 的 】

- ・防災・減災の取り組みとして、実際の震災被害を受けた現地で体験をすることで地域ジュニアリーダーの役割を認識し、本地域での活動の源を確立する。
- ・自分たちのできることを見出し、人のため地域のために貢献する力を身につける。
- ・現地中学生と交流をすることで自分たちの将来を見据えた交流、仲間意識の確立をも目的と考える。
- ・現地の高齢者の方々とのふれあいや体験談を傾聴し交流をすることで、これからの時代を担う者の責任感を育み、「生きる力」の強さを感じ、共に元気を与え吸収したい。

## 【 日 時 】

平成 28 年 3 月 25 日（金）～ 26 日（土）

## 【 宿 泊 】

南三陸ホテル観洋

宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎 99-17 Tel 0226-46-2442

## 【 参 加 者 】（参加名簿参照）

|                     |      |
|---------------------|------|
| 大阪市立東三国中学校 ジュニアリーダー | 16 名 |
| 大阪市立東三国中学校 教諭       | 3 名  |
| 大阪市立東三国中学校 地域ボランティア | 2 名  |

## 【 活 動 内 容 】

- 3 月 2 5 日 ・未来サポート石巻（防災まち歩き）  
 ・女川：桜守りの会（桜植樹作業ボランティア）
- 3 月 2 6 日 ・南三陸町志津川地区周辺  
 （防災学習・語り部ガイドによる被災地体験）  
 ・東松島コミュニティーセンター  
 （現地ジュニアリーダーとの交流会）  
 宮城県東松島市矢本字大溜 1-1

## 【 集 合 場 所 】

第 1 集合場所・・・地下鉄「東三国駅」北改札前（時間 6:30）

第 2 集合場所・・・伊丹空港 南ターミナル 1 階 ANA 総合案内所前（時間 7:30）

いずれかを事前に確認します。

## 【 行 程 】

- 伊丹空港（8:15 発）→仙台空港（9:25 着）ANA731 便
- 仙台空港（19:00 発）→伊丹空港（20:25 着）ANA740 便
- 現地（宮城）貸切り中型バス

25 日・仙台空港前（10:00 発）→ 石巻市（11:00 着）→ 女川（14:00 着）  
 ・女川（16:30 発）→ 宿泊地（南三陸町）（18:00 着）

26 日・宿泊地（9:00 発）→ 防災学習実施場所（9:30 着）→  
 南三陸町志津川地区内視察→ さんさん商店街（11:30 着）・  
 さんさん商店街（12:30 発）→ 東松島（14:00 着）・ 東松島  
 （16:00 発）→仙台空港前（17:30 着）

## 【 今 後 の 流 れ 】

- 3月3日                      ・説明会 南館会議室
- 3月初旬                    ・事前学習①
- 3月14日                    ・事前学習②1, 2年生全体学習
- 3月中旬                    ・事前打ち合わせ
- 3月20日前後                ・壮行会

## 【 事 後 の 予 定 】

- 地域への報告会
- 学校関係への報告会 等

## 【 負 担 金 】

5,000 円

研修にかかる生徒費用に関しては、大阪市教育委員会事業、校長経営戦略予算より交通費・宿泊費等は支出されますが、その他保険、研修費用、昼食等、受益者負担とさせていただきます。

## 【 服 装 】

- 行き帰り、標準服。厳寒が予想されますので、防寒着(厚め)
- ボランティア活動時は体操服、防寒着で行います。
- 宿舎内での服装は自由。

※服装、靴など、あらためて買い求めることのないよう今あるもので準備する。

## 【 持 ち 物 】

- ☐ 洗面用具   ☐ 着替え (体操服、ホテル内着用着、就寝時の服等)
- ☐ 標準服   ☐ 汗ふき用タオル (バスタオル等はホテルにあります)
- ☐ 筆記用具   ☐ 雨具   ☐ 水筒   ☐ ビニール袋   ☐ 手袋   ☐ 帽子
- ☐ 常備薬・酔い止め等   ☐ 健康保険証   ☐ おやつ (適量)
- ☐ こずかい (5,000 円程度)   ☐ 学校指定サブバッグ (カバンは自由)
- ☐ しおり   ☐ その他 (活動や自分で必要と考えるもの)

※一人で遊ぶようなもの、スマホ・携帯、ゲーム類などは厳禁。

※この研修に限らず外出先では常に盗難・紛失の可能性があるので、  
不必要な金品・大事なものは絶対に持ってこないように。

## 【 諸 注 意 】

- 飛行機搭乗、機内には、ハサミやカッター、ナイフなどの刃物類は厳禁。
- 機内では乗務員の指示に従い、他の乗客の迷惑にならないようにする。
- 搭乗手続き等さまざまな注意事項に対応しましょう。
- 被災地の方々、現地の方々が不愉快な思いをしないよう気配りを大切に。

平成27年度 東北被災地生徒ボランティア派遣(校長経営戦略予算加算配付事業)「宮城」 行程表

| 日程 | 月 | 日  | 曜日 | 訪問先                      | 時間 | 摘要                                                                                                                                                                                                            | 宿泊              |
|----|---|----|----|--------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1  | 3 | 25 | 土  | 石巻市内周辺                   | 午前 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊丹空港(8:15発) ⇒ 仙台空港(9:25) ANA731便</li> <li>・仙台空港(10:00頃発) → 石巻市(11:00頃着)</li> <li>・石巻市にて防災まち歩き</li> <li>・石巻市(12:30頃発)→女川町(13:30頃着) * 車内昼食</li> </ul>                   | ホテル(南三陸町志津川地区内) |
|    |   |    |    | 女川町内周辺                   | 午後 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川町にて桜植樹作業ボランティア</li> <li>・女川町(16:30頃発)→宿泊先(17:45頃着)</li> <li>・ホテルにて夕食</li> </ul>                                                                                     |                 |
| 2  | 3 | 26 | 日  | ①南三陸町志津川地区周辺<br>②さんさん商店街 | 午前 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテル(8:30頃発)→防災学習実施場所(9:00着)</li> <li>・防災教育、昼食(さんさん商店街)</li> </ul>                                                                                                     |                 |
|    |   |    |    | 東松島コミュニティーセンター           | 午後 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南三陸町(12:30頃発)→東松島コミュニティーセンター(14:00頃着)</li> <li>・現地ジュニアリーダーとの交流会</li> <li>・東松島コミュニティーセンター(16:00発)→仙台空港(17:30頃着)</li> <li>・仙台空港(19:00発)⇒伊丹空港(20:25着) ANA740便</li> </ul> |                 |

※交通機関記号… ⇒飛行機

→貸切バス